臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（病院）では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	ESD後に認められた胃内残渣と心窩部痛の検討
研究機関名	金沢医科大学（病院）
研究責任者	金沢医科大学（病院） 消化器内視鏡学
研究期間	倫理審査委員会承認日 ～ 2020年3月31日
対象者	2013年4月1日から2016年3月30日までに当院当科で内視鏡的胃粘膜下層切開剥離術（以下 ESD）を施行された方。
当該研究の意義・目的	早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（以下、ESD）は手技や内視鏡器具の進化によりESDは安全、確実に病変を切除することが可能となりました。ESDは無事に終了したものの切除後の上部消化管内視鏡検査で胃内残渣を認める症例や術後心窩部痛などの消化器症状を訴える患者をしばしば経験することがあります。そこで我々はESD後の胃内残渣、心窩部痛、切除後便秘を引き起こす条件を割り出すため切除方法や患者背景を検討することとしました。
方法および研究で利用する試料・情報について	この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。内視鏡画像記録端末、電子カルテにより、上記期間中に得られた内視鏡画像情報、病理組織所見、電子カルテ内の心窩部痛の有無、便秘の有無、基礎疾患、内服歴などを本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学（病院） 消化器内視鏡学 川浦 健 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511（2211）内線（5242）

作成日： 2018年6月11日